

※ 今週のアウトルック(5/1~5/5)

先週は金曜日に円安が大きく進みました。
日銀植田総裁の緩和政策継続姿勢が鮮明になったことが影響しているようです。
今週はFOMCや米国雇用統計発表を控える中、通常であれば週初めは小動きな展開となる所ですが、ボラティリティが大きくなっており、場合によっては大きく荒れる展開も想定したほうが良いかもしれません。

先週のドル円は、木曜日まではさえない展開が続いたものの、金曜日には136円台前半まで大きく上昇しました。

今後も日米の金利差は縮まらないという見方が強まっているようです。
今週はまず、次のターゲットとなる138円付近のレジスタンスまで一気に円安が進むのかがポイントとなりそうですが、一時的な利益確定的な動きはあるにせよ、レジスタンスライン到達は時間の問題のように思います。
また、FOMC、米国雇用統計の結果次第では、140円を目指す展開となることも想定しておいた方が良いでしょう。

ドル円の予想レンジは133円から140円です。

先週のユーロ円はECBの利上げに対する強気な姿勢から、ユーロ高が加速して150円台に到達しています。
今週はユーロドルが1.11付近のレジスタンスをブレイクできていない事や150円を超えたユーロ円の次のターゲットが鮮明にならないことなどから、一時的にせよ、利益確定売りが優勢になる可能性もあるのではないかと、考えています。

ユーロ円の予想レンジは147円から153円です。

ポンド円も一気に171円台まで上昇しています。
次のターゲットは172円台前半となりそうですが、ブレイクトライ後、あるいはブレイクトライ前にも、一度調整する可能性を想定しておいた方が良いでしょう。

ポンド円の予想レンジは165円から173円です。

GW中にFOMC、米国雇用統計を控え、今週は大きく動く可能性も視野に入れておく必要はあるように思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。